

Weekly Report



創立/1986年2月19日 (会長) 島田謙司 (幹事) 村山圭治
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-33-26-109 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
 HP http://www.toshimah-rc.jp E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1205 回例会 2011 年 8 月 3 日

●本日のプログラム

クラブフォーラム
 増強に向かって

会員増強・退会防止委員会

●先週の例会報告 2011年7月27日

会長報告

水野ガバナーより公式訪問及び地区委員会等に関するご協力のお願いがきております。

①クールビズ推進

節電対策のため、夏期の会合はノーネクタイでご参加ください。

②ガバナーへの対応について

出迎え等の過大な敬意は不要です。一会員として皆様のお仲間に加えていただく気持ちでおりますので、特別待遇をなさらぬようお願いいたします。

幹事報告

①(訃報) 高野豊島区長のご令室 路子様のご逝去されましたので、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

②活動計画書の26ページの例会スケジュールに誤りがありますのでご訂正をお願い致します。

平成24年2月22日の地区大会会場がホテルニューオータニとなっておりますが、今年度は帝国ホテルで開催されます。

■ゲスト

埼玉医療チーム代表 田中健一様

■ビジター

池袋RC 南山幸弘様 加古博昭様
 あすかRC 稲田照美様

■出席報告

会員	出席率 参入 会員数	出席数	欠席数	出席率	7月13日分 修正出席率
37名	33名	29名	4名	87.88%	93.54%

●次回のプログラム

卓話

前立腺がんの話

順天堂大学

名誉教授 北川龍一氏

紹介者 長井忠昌会員

ニコニコ BOX

稲田照美様/本日はメイクアップに参加しました。よろしくお願ひ致します。

浅原会員/島田(会長)、村山(幹事)丸の順調な出航お目出度う御座居ます。小生、本年度初顔見せです。よろしく! 脊柱管狭窄症の手術が無事成功、生還致しました。どこも痺れも痛みもありません。

体力が戻りゴルフがシングルになれば全快です。皆様からのお見舞いで元気づけられ、早く退院出来ました。

当クラブの元気なスタートと退院快気祝い合せてニコニコ致します。

廣内会員/結婚記念(27周年)祝い、美味しい果物を送っていただき有難うございました。

今日の卓話者田中先生、お忙しい中来ていただいて、有難うございます。



ニコニコ累計

7月 181,000円

CLUB NEWS

■第48回インターアクト年次大会

開催日時/8月7日(日)9:00~

場所/城西大学附属城西中学・高等学校

出席者/前川PG

■例会場変更のお知らせ

次週、8月10日例会場が2階「曙の間」に変更となります。

会員増強・拡大月間



東日本大震災大槌町での活動
 埼玉医療チーム代表
 北京天衛門診療所
 歯科主任 田中健一氏

被災地で何かをしたい

「これじゃあ被災地に着けない、どうしよう」昨夜、東京をでてから 450km、先ほどからガソリンメーターは E のランプがついたままだ。これまでのことが走馬灯のごとくに思い出される、震災の次の日には業界団体に支援チームに入れてくれるよう陳情に行き、2 日目には福島原発の状態を調べるため福島に入った。そして、軽トラックに物資を満載し(350kg のところ 1t も積んでいる過搭載)、岩手県大槌町に向けて出発したのが震災後 6 日目。感冒予防のためうがい薬を提供した品田教授、自費で買ったガムを提供した川口教授、歯ブラシを供出した安田先生、加藤先生。

まだ目的地までゆうに 150km もあるのに・・・もうダメだ、ガソリン不足にもかかわらず出発したのが無茶だった、指定されたガソリンの給油所まではまだ遠い。今まで支えてくれた先生方になんと言えよいのだろうか？被災地で物資を待っている人になんと言えよいのだろうか？今までのことが頭の中で逡巡する。

昭和 58 年、学校に入学しはじめのオリエンテーション、時の佐藤学生部長(現東京有明医療大学長)は「皆さんは国家の金で医療を学ぶ、いつか将来、国家の存亡の際にはまっ先に立ち上がってほしい」と言った、なぜかこの言葉だけは 30 年たった今でも覚えていた。そうだ、きっと今がその時なのだと閃いた、私は国家でもなければ組織の代表でもない、でも被災地に個人でできることを提供しよう、その一念で自分を鼓舞し無理・無謀をかさね今まで動いてきた。でもこれも言い訳にしかならない、ガソリン不足はいかんともしがたい・・・。さらに、想いを同じくして集ってくれた高野医師、鈴木看護師を東京に無事に戻さなければならぬ責任はある。

まさに絶望の時、閉鎖されている東北道で道路工

事をしている業者がいた、そうだ、この業者なら重機のためのガソリンを持っているに違いない、売ってくれるのではないかと、事情を説明した、そこで譲ってもらった。そのガソリンのおかげで給油所まで辿り着くことができた、何度もお金を払わせてほしい、と言ったが、救援にきてくれる人からもらうわけにはいかないと固辞された。日本の強さとはこういうところにあるのだと思う。

夜の釜石市は停電し、いたるところ土砂が道路に覆いかぶさる状態、そこをこえて当初の予定時間より 8 時間も遅れ避難所の一つである大槌町城山体育館に入ったのは深夜 11 時であった。二日で 1 個のおにぎりを半分ずつして食べただけとのこと、ここは日本なのだろうか？中国・四川地震の際よりひどいじゃないか。次の日 5 時には起床し(氷点下 5℃、寒くて眠れなかった)、そこで聞いた話は壮絶そのものだった。物資を配れるだけ配り帰途についた。まだ自衛隊もきていない時のことである。

現地のニーズは衣服・食料品、医療品から BHN に起因する物資へ、そして教育、就労、さらに町のあり方へと推移した。こうなると医療関係者より、弁護士、会計士、IT 関係、水質専門家、さらには財務省、内閣府の官僚らが好ましい。3/13 から 7/23 の今まで、都合 10 回、総勢 63 名と大槌町を一緒にした。私にできることはこれらの専門家を被災地まで運ぶことがメインになってしまった。

今の私を支えている言葉：凄惨な現場は見たものに責務を与える(フランスの哲学者、ポール・リキュール)。

8 月のお祝い

会員の誕生日

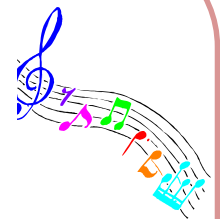
大林 原会員 15 日
 鈴木利貞会員 28 日
 佐野明三郎会員 29 日

夫人の誕生日

渡邊孝子夫人 2 日
 榊原靖子夫人 10 日
 廣内芳子夫人 19 日
 村中静枝夫人 25 日
 坂本喜杏夫人 28 日

年間 100% 出席表彰

渡邊裕之会員 8 年
 村山圭治会員 4 年



ガバナー月信 8 月号は地区ホームページで
 ご覧ください。

(プリントご希望の方は事務局まで)

URL: <http://www.rid2580.org/>